

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009仙第73号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年7月4日 18時30分ごろ	
発生場所	福島県南相馬市 東北電力原町火力発電所専用港北防波堤灯台から真方位 289° 8.5海里付近 (概位 北緯37° 36.9′ 東経141° 12.5′)	
事故等調査の経過	平成21年7月6日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 貨物船 ^{あき}安芸丸、499トン 140843、アキ・マリン株式会社</p> <p>B 漁船 ^{こうえい}第五光栄丸、9.7トン IT2-4096（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長、四級海技士（航海）</p> <p>B 船長、一級小型船舶操縦士</p>	
死傷者等	なし	
損傷	<p>A 左舷船首部外板に擦過痕</p> <p>B 前部及び後部オーニング損傷、機関室に破口、船体中央部いか釣り機破損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか5人が乗り組み、南相馬市沖を北上中、単独で船橋当直中の船長Aが、腹痛に見舞われて便所に行き、船橋を無人にした。 船長Aは、便所から船橋に戻ったとき、目前にB船を認めたが、平成21年7月4日18時30分ごろ、A船の左舷船首部とB船の右舷中央部が衝突した。</p> <p>B船は、船長Bほか1人が乗り組み、南相馬市沖において、作業灯を点灯して錨泊し、船長B及び甲板員Bが、船員室で食事中、A船と衝突した。</p> <p>両船は自力で福島県相馬港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 1、視界 良好、日没時刻 19時00分ごろ</p> <p>海象：うねり なし、波 なし</p>	
その他の事項	船長Aは、レーダーでB船を認めていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は、南相馬市沖を北進中、船長Aが、単独で船橋当直中、腹痛に見舞われて便所に行き、船橋を無人として航行したため、B船に接近したものと考えられる。 船長Aは、便所に行く際、他の乗組員を呼んで</p>

	<p>当直を交替しなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、錨泊中、作業灯を点灯し、船長B及び甲板員Bが船員室で食事をしており、A船の接近に気付かなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、南相馬市沖において、A船が北進中、B船が錨泊中、単独で船橋当直をしていた船長Aが腹痛に見舞われ、船橋を無人として航行し、また、船長B及び甲板員Bが船員室で食事をしており、A船の接近に気付かなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>